

区分	対象となる流域治水プロジェクト	実績		予定	
対策内容	青野川 相生沢川 河津川 大賀茂川 殿田川 五十鈴川 那賀川 仁科川 宇久須川	実施主体	組織	令和7年度	令和8年度
■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策					
治水協定に基づくダム・洪水調節機能の強化(事前放流)	○				
河川改修(河道掘削、護岸整備)水門の施設修繕	○	○	○	○	○
砂防施設等の整備、森林整備・治山事業		静岡県	下田土木	事前放流の確実な運用。関係機関と協力した、事前放流に係る情報伝達訓練の実施。	事前放流の確実な運用。関係機関と協力した、事前放流に係る情報伝達訓練の実施。
		静岡県	下田土木	7水系(殿田川、五十鈴川を除く)で、河道掘削及び護岸整備を実施した。殿田川、五十鈴川では水門の点検・修繕を実施した。	7水系(殿田川、五十鈴川を除く)で河道掘削及び護岸整備を実施していく。殿田川、五十鈴川では水門の点検、必要な修繕を実施していく。
		静岡県	下田土木	5水系(相生沢川、青野川、仁科川、宇久須川、那賀川)で、砂防堰堤工及び砂防堰堤改築工を実施した。	引き続き、5水系(相生沢川、青野川、仁科川、宇久須川、那賀川)で砂防堰堤工及び砂防堰堤改築工を実施していく。
		静岡県	賀茂農林森林整備課、治山課	(賀茂農林森林整備課)間伐や下刈などの森林整備や荒廃森林の再生を実施 (賀茂農林治山課)谷止工や山腹工など治山事業を実施	(賀茂農林森林整備課)間伐や林相転換などの森林整備や荒廃森林の再生を計画 (賀茂農林治山課)谷止工による治山事業を計画
		下田市			予定なし
		河津町		県単独治山事業(大鍋原地区)	事業予定なし
		南伊豆町		青野地内において、水土保全機能森林整備として、常緑広葉樹を伐採し落葉広葉樹に植栽する樹種転換工事を0.23ha実施予定 中木地内において、落石防護網工を345㎡実施	青野地内において、水土保全機能森林整備として、常緑広葉樹を伐採し落葉広葉樹に植栽する樹種転換工事を0.23ha実施予定
		松崎町		風早治山工事完了	事業予定なし
		西伊豆町		森林整備 町有林18.48ha、補助事業63.03ha、計81.51ha 治山事業 山腹工0.05ha、土留工1箇所	過度な出水と森林荒廃を抑制するために、森林の整備を継続する。
		森林整備センター		森林の保水力向上や土壌流出防止等に資するため、除間伐等の森林整備を実施。また、主伐期を迎えた森林での更新伐(育成模層林造成)を実施。	除間伐等の森林整備、更新伐後の再造林を継続実施するとともに、更新伐の事業地の選定と協議を進める。
ほ場整備に伴う排水路の改修	○				
		静岡県	賀茂農林農村整備課	【那賀川】 中山間地域総合整備事業(松崎地区) 【青野川】 中山間地域総合整備事業(竹麻地区)	【那賀川】 中山間地域総合整備事業(松崎地区) 【青野川】 中山間地域総合整備事業(竹麻地区)
		南伊豆町		実績予定なし	実績予定なし
		松崎町		町単事業なし	町単事業なし
■被害対象を減少させるための対策					
立地適正化計画による浸水リスクを考慮したまちづくりの推進(立地適正化計画に基づく防災指針の作成)	○	○			
土地利用の適正指導、無秩序な開発抑制		静岡県	下田土木都市計画課	青野川水系や大賀茂川水系等で宅地造成等規制法第8条による許可審査を行い、土地利用の適正指導を行った。	引き続き宅地造成等規制法第8条や、都市計画法第29条の許可審査によって、無秩序な土地の開発抑制を行う。
		下田市		適正な土地利用のための指導、監視体制の継続	適正な土地利用のための指導、監視体制の強化
		河津町		適正な土地利用のための指導、監視体制の継続	適正な土地利用のための指導、監視体制の強化
		南伊豆町		実績なし	具体的な実施予定の事業はないが、「南伊豆町土地利用事業等の適正化に関する指導要綱」により、施行区域及びその周辺の地域における災害を防止、良好な自然環境の確保に努める
		松崎町		実績なし	実績なし
		西伊豆町		実績なし	実績なし
水災害リスク情報空白域の解消(土砂災害警戒区域LP測量による新規抽出)	○	○	○	○	○
■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策					
水災害リスク情報空白域の解消(洪水浸水想定区域図の作成・ハザードマップの作成・土砂災害警戒区域標識等の設置)		静岡県	河川企画課、土砂防災課、砂防課、下田土木	(河川企画課・土砂防災課)中小規模河川の洪水浸水想定区域を令和7年度末までに下田土木事務所管内の指定対象河川(37河川)すべてで指定を実施 (下田土木・砂防課)土砂災害警戒区域標識等を設置した。	(河川企画課・土砂防災課)区域指定により義務化される市町のハザードマップ作成・周知を支援していく。 (下田土木・砂防課)引き続き、土砂災害警戒区域標識等の設置を推進する。
	○	○	○	○	○
		下田市		R6年度に更新したハザードマップに修正事項が発生した場合は、見直しをおこなう。	R6年度に更新したハザードマップに修正事項が発生した場合は、見直しをおこなう。
		河津町		洪水浸水想定区域(谷津川・大鍋川)を示したハザードマップの作成	
		南伊豆町		土砂災害警戒区域をホームページや広報誌に掲載している。	新たな指定等があれば、ハザードマップの更新を随時行う。
		松崎町		令和2年度に土砂災害・洪水ハザードマップ作成し、各戸配布及びHPにおいて公表済み。	県の第5次地震被害想定状況により、必要に応じてハザードマップの修正を検討する。
ハザードマップの周知及び住民の水害や土砂災害リスクに対する理解促進の取組		西伊豆町		町民参加の防災関係事業の際に、ハザードマップの使い方や見方などを周知する。	ハザードマップの更新を検討する。(5次想定発表後)
		静岡県	河川企画課、土砂防災課、下田土木	(河川企画課・土砂防災課・砂防課)・土木事務所と市町職員を対象に説明及び意見交換を実施し、水害・土砂災害対策に対する警戒避難体制の充実・強化を図った。 ・県庁見学会等を活用し、水害リスクや防災情報について説明を行い、周知啓発を図った。 ・県職員を派遣し、土砂災害講習会や避難訓練等を実施し、土砂災害に関する警戒避難体制の強化を図った。(6月1日の全国統一訓練日には市町避難訓練を実施し約180名が参加) ・市町や教育委員会と連携し、賀茂地区3市町の小学校に出前講座を実施し、土砂災害に関する警戒避難体制の強化を図った。(約270名の児童が参加) (下田土木) 出前講座等を活用した住民向けの防災情報の説明会の実施。令和7年度は土砂災害に関する出前講座を合計10回開催した。	(河川企画課・土砂防災課・砂防課)・土木事務所と市町職員を対象に説明及び意見交換を継続し、水害・土砂災害対策に対する警戒避難体制の充実・強化を図っていく。 ・県庁見学会等を活用し、水害リスクや防災情報について説明を継続し、周知啓発を図っていく。 ・6月の土砂災害防災月間に県職員を派遣し、土砂災害講習会や避難訓練等を実施予定。 ・市町や教育委員会と連携し、土砂災害警戒区域内の小中学校を重点的に出前講座を実施し、避難訓練の実施率向上や土砂災害に関する警戒避難体制の強化を図っていく。 (下田土木) 出前講座等による、避難行動を促す取り組みを実施していく。
	○	○	○	○	○
		下田市		2月20日、大賀茂小学校3・4・5・6年生を対象に東北大学災害科学国際研究所 保田真理氏による防災講演会を実施。土砂災害等への正しい知識を学び、災害時の対応力と判断力を高めた。	防災講演会等を開催し、防災・減災の理解促進に取り組む
		河津町		土砂災害・全国統一防災訓練実施日の6月1日に逆川地区において出前講座(住民20人参加)を実施した。	土砂災害・全国統一防災訓練実施日において出前講座を実施予定
		南伊豆町		ホームページや広報誌に掲載している。土砂災害防災訓練時に静岡県が作成した土砂災害警戒区域表示板を使用し、地域住民に説明を行い周知と理解を図った。	洪水・出水期に広報誌で周知を図る。
		松崎町		土砂災害訓練やわたしの避難計画普及時にハザードマップを使用した、水害・土砂災害に関するリスクの説明を行った。	訓練等で、ハザードマップを使用した災害リスクの説明及び、「静岡県防災アプリ」や「わたしの避難計画」の普及を行なう。
		西伊豆町		各地区の自主防災委員を対象とした、わたしの避難計画普及員養成講座を開催	各地区の自主防災委員を対象とした、わたしの避難計画普及員養成講座を開催

区分	対象となる流域治水プロジェクト										実績	予定	
対策内容	青野川	稲生沢川	河津川	大賀茂川	殿田川	五十鈴川	那賀川	仁科川	宇久須川	実施主体	組織	令和7年度	令和8年度
サイボスレーダーによる水位の観測情報等の提供										静岡県	河川企画課、土木防災課	(土木防災課) ・サイボスレーダーを活用し、雨量・水位に係るリアルタイム情報の提供。 ・わかりやすい情報発信を目的としたサイボスレーダーの改修を実施。	(土木防災課) ・サイボスレーダーを活用し、雨量・水位に係るリアルタイム情報の提供。 ・わかりやすい情報発信を目的としたサイボスレーダーの改修を実施。
										下田市 河津町		広報に掲載、防災講座等で周知を行う	広報に掲載、防災講座等で周知を行う
										南伊豆町		地区別土砂災害ハザードマップに掲載し、ホームページで紹介している。 土砂災害防災訓練時にサイボスレーダーの紹介を行った。	引き続きホームページで紹介し、訓練時に周知等を図る。
										松崎町		土砂災害・洪水ハザードマップにサイボスレーダーのQRコードを掲載している。	状況により、該当河川沿いの要配慮者利用施設に水位観測情報（避難判断水位以上）の情報提供を行う。
										西伊豆町		ハザードマップにサイボスレーダーのQRコードを掲載している。	訓練時に周知等を図る。
要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保										静岡県	河川企画課、土木防災課	(河川企画課・土木防災課) 関係機関が主催する研修会等で使用する避難確保計画策定に関する説明資料を提供し、制度の理解促進を図った。 市内各施設で避難訓練を実施	(河川企画課・土木防災課) 関係機関が主催する研修会等で避難確保計画策定に関する説明を継続し、制度の理解促進を図っていく。 市内各施設に継続した訓練の実施を呼びかける
										下田市 河津町		市内各施設で避難訓練を実施	市内各施設に継続した訓練の実施を呼びかける
										南伊豆町		個別説明を実施した結果、未作成施設において避難確保計画が作成された。	避難確保計画に基づく避難訓練未実施の要配慮者利用施設に個別説明を行い、訓練実施の促進を行う。
										松崎町		要配慮者利用施設への避難確保計画作成指導等により、8施設で避難確保計画を作成済み。施設（聖和保育園）とのデジタル無線機器を使用した通信訓練を実施した。	避難確保計画が未策定の施設に対し、説明を行い提出の促進を行う。また、要配慮者利用施設との通信訓練も予定している。
										西伊豆町		地域防災計画に要配慮者利用施設を位置つけた。	要配慮者利用施設に個別説明を行い、避難確保計画の作成を促す。